

平成26年度公共事業事後評価  
中山間地域総合整備事業  
東伊豆地区



# 東伊豆町の概要



人口 約13,000人

主産業 観光業

農家数 347戸 (2010センサス)

主要農作物 柑橘類(ニューサマーオレンジ・ハウスみかん等)

花卉(カーネーション)



急傾斜で農地の効率が悪い

問題

施設園芸を拡大したいが、  
適地となる平地がない。

# 農村振興基本計画の概要

文化・教育	農村の自然環境の 保全と活用	集落整備	ビジネス経営	地域の経営	担い手農家の育成
自然体験学習 地域文化振興 社会教育活動 福祉教育活動	景観整備 自然体験学習 ○災害の防止 ○観光拠点の造成 生態系保全	資源循環促進施設 集落環境整備 ○安心・安全施設 防災施設 ○集落の情報化 ○少子・高齢化社会への対応 ○集落内道路と安全整備	都市との交流 ○グリーンツーリズム活動 観光拠点の造成 住民活動支援	農産物販売施設 特産品の開発	経営基盤の確立 生産基盤の整備 ○ふるさと裏街道整備 優良農地の保全

農村振興のテーマ

主要施策

中山間地域総合整備事業  
東伊豆地区

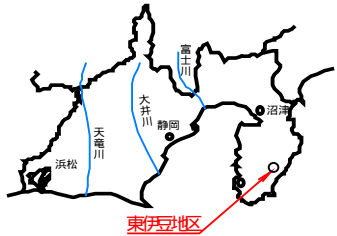
活性化施設

農道

農用地開発



県内位置図



東伊豆町位置図



# 中山間地域総合整備事業 東伊豆地区

## 事業の目的

地域の特産物を活かした農業の確立  
都市住民との交流の促進

## 事業概要

施工箇所 賀茂郡東伊豆町

受益面積 41.5ha

工期 H15～20年度

事業費 719百万円

工事内容

- ・農用地開発 6.3ha
- ・農道 3路線(改良 1.64km)
- ・活性化施設 1箇所 等

活性化施設  
(きぼうのやかた)

奈良本地域

農道(3)  
L=273m

奈良本農道1号  
L=777m

白田農道1号 L=745m

片瀬農道1号  
L=253m

白田農道3号  
L=492m

東河オレンジライン

一般農道稲取

稲取農道4号  
L=906m

稲取排水路  
L=572m

市民農園 A=1.5ha

国道135号線

見高公園  
A=0.5ha

排水路(2) L=565m

排水路(1)  
L=460m

農用地開発 A=6.3ha

農道(1) L=526m

農道(2)  
L=845m

稲取地域

見高農道  
L=2,043m

### 【凡例】

中山間地域総合整備事業 東伊豆地区(H15～20)

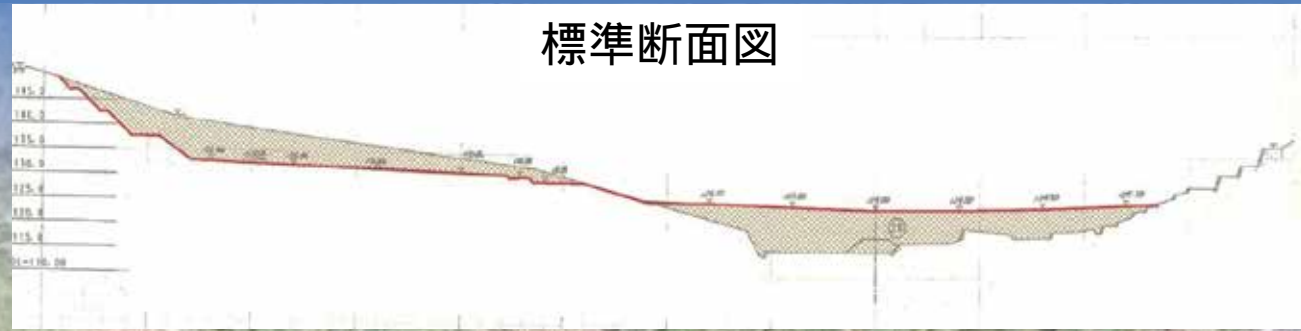
中山間地域総合整備事業 東河地区(H24～29)

農免農道 見高稲取地区(H元～H22)

一般農道整備事業 稲取地区(H22～27)

# 農用地開発の概要

標準断面図



既存ハウス

農用地開発区域  
A=6.3ha

平均勾配 3%  
標準区画 120m x 80m  
営農計画 ハウスみかん、ハ  
ウスいちご、カーネーションなど



施設園芸(カーネーション)

# 農用地開発による効果

施設栽培への転換により所得向上！  
カーネーション、ネーブル、イチゴなど

実施後

給水栓の設置  
用水の安定供給確保



受益地内の所得額

2.2倍

約135万円/戸 → 約300万円/戸

# 農道整備の概要

【従前】



車両の通れない劣悪な営農条件

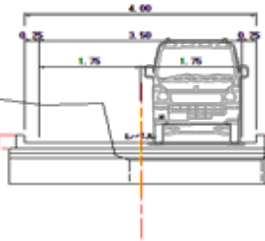
【実施後】



2号農道

コンクリート舗装箇所

全幅 W=4.00m



1.0 ~ 2.0m → 4.0mに拡幅

道路整備で車両の乗入が可能となり  
輸送、通作の負担が大幅に改善

# 農道整備による効果

軽トラック等による収穫運搬が可能  
移動時間が大幅に短縮！  
日常の通作が大幅に向上

実施後



実施前



およそ  $\frac{1}{4}$  に短縮！

受益内の農業車両に係る年間移動時間

56時間/戸 →

15時間/戸



# 活性化施設の概要

活性化施設「きぼうのやかた」

建物構造 : 木造平屋建  
建築面積 : 135m<sup>2</sup>  
延床面積 : 99m<sup>2</sup>  
管理主体 : 東伊豆町



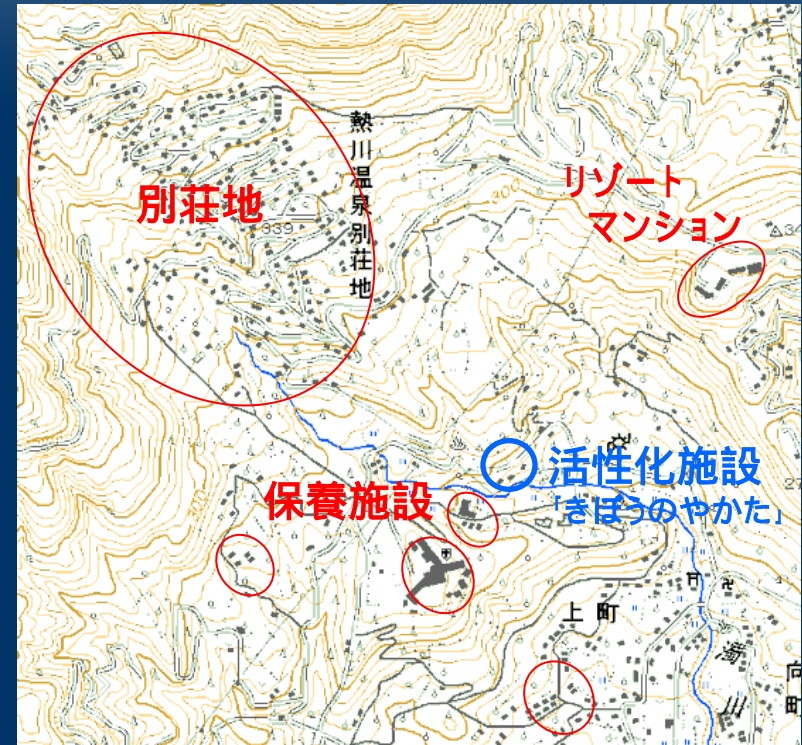
地域のイベント開催  
都市住民との交流拠点



里の朝市

ふるさと学級

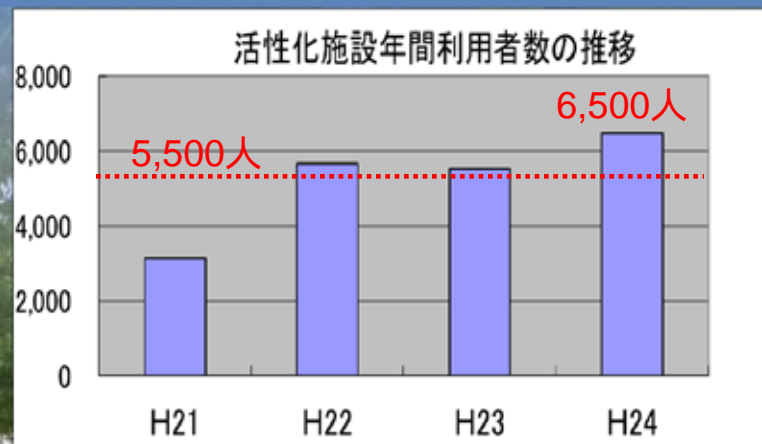
ホテルの幼虫  
採取体験



別荘地の利用者等を誘客

# 活性化施設による効果

営農労力節減により生じた余剰労力を活用し都市農村交流で活性化  
都市農村交流が拡大！



目標を上回る

活性化施設年間利用者数

6,500人 / 年

(計画 5,500人 / 年)

# 温泉資源を基軸とした観光業と農業 との連携による着地型観光が進む

観光農業  
の展開



オレンジ狩り(1月～6月)



いちご狩り(12月～5月)



カーネーション狩り



各種農産物加工体験

# 事業の効果

## 食料安定供給確保効果

(作物生産・品質向上・営農経費節減・走行経費節減)

総便益:9.2億円

## 災害防止効果

総便益:0.7億円

## 一般交通等経費節減効果

災害防止効果

総便益:1.0億円

## 都市農村交流促進効果

総便益:2.9億円

## 投資効率

**B/C=1.57**

総便益(B)13.8億円  
総費用(C) 8.8億円

# 今後の対応方針(案)

農業所得の向上

営農労力の節減

都市住民との交流拡大

**費用対効果 1.57**



「効果は十分に発現しており改善措置の必要はない」